

農業委員会広報誌

みどりのこだま

第99号

発行所: 大津市農業委員会

令和8年9月15日発行

大津市御陵町3番1号

みどりのこだま編集部

TEL (077) 528-2680

大津市農業委員憲章(抜粋)

大津市農業委員は

- 一 農業・農村・農業者の代表者として、新基本法農政の推進に努め、市民の期待と信頼に応えます。
- 一 食料の自給率向上のため、適正な農地行政に努め、優良農地の確保と効率利用を進めます。
- 一 意欲ある担い手を育成確保し、望ましい農業構造を実現するため、農用地の利用集積と集団化に努めます。

会長就任のご挨拶



会長 村田 省三

この度、第二十六期大津市農業委員会が発足し、総会におきまして委員各位のご推挙を賜り、会長の重責を担うこととなりました。委員会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

農業に携わる皆様には、日ごろより農業委員会の活動に関しまして格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、皆さまもご承知のとおり、今日の農業を取り巻く環境は、担い手不足や高齢化、耕作放棄地の増加に加えて、国際情勢に起因する燃料や肥料の価格高騰、さらには米価の変動など多くの課題に直面しております。

このような状況において、農地の集積、集約化や有効利用を進め、持続可能な農業の実現に向け、農地利用の最適化活動を推進する農業委員会が果たすべき役割は、これまでに以上に重要性を増していると認識しております。

この役割を果たしていくために、農業委員及び農地利用最適化推進委員が丸となり、業務に精励してまいりますので、ご支援とお力添えのほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

副会長



安井 善次



上坂 雅彦



中山 敦生

第26期大津市農業委員会が発足しました

令和8年7月20日、大津市長より、18名の農業委員が任命され、また、大津市農業委員会より、20名の農地利用最適化推進委員が委嘱されました。

農業委員と農地利用最適化推進委員は共に連携し、下記のことに取り組みます。

- ①農地の確保と有効利用
- ②農地等の利用の最適化
- ③農業の担い手の育成・確保
- ④地域の課題解決



任期は3年間です。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



購読申し込みは、
(一社)滋賀県農業会議

TEL077-523-2439

第 26 期農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員

農業委員会委員 18 名、農地利用最適化推進委員 20 名 （任期:令和8年7月20日から令和 11 年 7 月 19 日まで）

北 部			
地区	町名	農業委員	推進委員
小松	北小松、南小松、北比良	面村 和彦 	比良岡 昭七郎 
木戸	南比良、大物、荒川、木戸	中田 幸吉 	岡田 文夫 
	八屋戸、南船路、北船路		石塚 善朗 
和邇	和邇北浜、和邇中浜、和邇南浜、和邇高城、和邇今宿、春日1～3丁目	嶋口 吉信 	音羽 正司 
小野	栗原、和邇中、小野、水明1.2丁目、朝日1.2丁目、湖青1.2丁目		
葛川	全域	東 清信 	上田 雄亮 
伊香立	途中町、上龍華町、下龍華町、龍華町、南庄町		横田 直喜 
	上在地町、下在地町、北在地町、向在地町、生津町		
山百合の丘	旧下在地町、旧向在地町の一部	安井 善次 	西上 清紀 
	旧真野佐川町の一部		
真野	真野1～6丁目、清水町、清風町、向陽町、陽明町、美空町、清和町、花園町、緑町、真野谷口町		
	真野普門1～3丁目、真野大野1.2丁目、真野佐川町、真野家田町	村田 省三 	櫻井 達雄 
堅田	堅田1.2丁目、本堅田1～6丁目、衣川1～3丁目、今堅田1～3丁目		

中 部			
地区	町名	農業委員	推進委員
仰木	仰木町(上仰木・辻ヶ下)、仰木の里1.2丁目、仰木の里東1.2丁目	上坂 雅彦 	伊藤 昌宏 
	仰木町(下仰木・平尾)、仰木の里3～7丁目、仰木の里東3～8丁目		岡本 欣也 
雄琴	全域	田村 喜昭 	奥村 洋治 
日吉台	全域	山本 順一 	石津 正嗣 
坂本 (一部唐崎学区を含む)	坂本1～8丁目、穴太1～3丁目、弥生町		
下阪本	全域	小嶋 政美 	大伴 四郎左衛門 
唐崎	唐崎1～4丁目、滋賀里、あかね町、見世、蓮池町、際川		
滋賀 (山上町含む)	全域		
山中比叡平	全域		
藤尾	全域	西村 博 	濱田 博之 
長等、逢坂、中央、平野、膳所、富士見、晴嵐	全域		
石山、南郷	全域	服部 学 	野上 忍 

南 部			
地区	町名	農業委員	推進委員
大石	全域	中山 敦生 	野上 豊 
田上	関津、黒津、太子、稲津、里	上野 繁清 	相井 康彰 
	石居、森、枝、羽栗		
上田上	青山、桐生、大鳥居、牧、平野	古田 博義 	木戸 繁男 
	中野、新免、堂、芝原		
瀬田	瀬田1～6丁目、神領1～5丁目、野郷原1.2丁目、三大寺、松陽、玉野浦、大江1～8丁目、一里山1～7丁目、月輪1～5丁目、栗林町	仲川 欣伸 	澤田 藤男 
	大將軍1～3丁目、大萱 1～7丁目、萱野浦	片山 敏典 	

利害関係を有しない委員	
区域等	農業委員
全域	正田 富美子 

農業委員のご紹介

中田 幸吉 委員 (木戸地区)

中田委員は、自身が生まれ育った木戸の地で野菜苗や花苗などの生産販売を手掛けています。認定農業者であり、「大津地域青年農業者クラブ季楽里」の会長・副会長、滋賀県指導農業士会大津・湖南支部の理事なども歴任し、地域の農業にも携わられています。

私と農業

私は幼い頃から祖母に「あんたは長男やさけ」と言われ続けて育ちました。その影響で「家を継ぐこと」と「家業を継ぐこと」を混同し、勘違いをしたままに大学の農学部に進学し、父の伝手で愛知県の種苗会社に研修生として入社しました。いわゆる修行を3年ほどしたのですが、その中で市場に出る前の試作野菜と基準品種を比較する試験業務に携わりました。

その時に初めて農業に対して強い興味と面白さを感じ、「これを一生の仕事にしよう」と決意した次第です。

その後、平成12年に家業の後継者（2代目）として地元に戻りました。

現在は年間で野菜苗約10万ポット、花苗約7万ポット、葱苗約7トン、玉葱苗約50万本を生産しています。

ちなみに、「家を継ぐこと」と「家業を継ぐこと」がイコールではないことに気づいたのは、30歳を過ぎてからでした。



これまでの農業経験を活かし、農業委員として、地域をもっと盛り上げていけるよう、頑張りたいと思っています。

3年間、どうぞよろしくお願いいたします。



↑白菜苗。もう1週間ほどで出荷開始になります。苗半作の言葉通り、なかなか一筋縄ではいきません。試行錯誤の繰り返しです。

→
葱苗。県外にも出荷しています。1年を通して、生産、販売と多忙ですが、この時期が終わったら、少しだけ落ち着きます。



編集後記

第二六期大津市農業委員会が発足しました。

私は前期に引き続き務めさせていただきます。農業に携わる皆様のお役に立てるよう、微力ながら尽力してまいります。(安井)

みどりのこだま編集部

委員長 村田 省三
委員 安井 善次

上坂 雅彦
中山 敦生

読者の皆様のご感想を

お聞かせください。

農業者年金に加入しませんか

1. 農業者なら広く加入できる
2. 積立方式、死亡一時金あり(80歳前に死亡の場合)
3. 保険料の額は自由に決められる
4. 支払った保険料は全額社会保険料控除
5. 政策支援(保険料の国庫補助)あり(要件あり)

詳しくは、
農業者年金基金専門相談員Tel03-3502-3199
農業委員会事務局Tel077-528-2680